

やよい絆28

第13号

令和3年6月

弥生町会連合会広報



北国街道に歴史を刻む念西寺

尼僧 加賀の千代女が当寺に3年余り起居し詠んだ有名な句「朝顔やつるべ取られてもらい水」の井戸が本堂の中に、千代尼塚が本堂正面にあります。

(井戸は当時外部にありましたが、その後本堂増築により現在井戸は建物内になりました。)

昭和 44年自衛隊機が墜落、念西寺境内にも尾翼が落下、死者4名重軽傷者23名、付近は火の海となりましたが念西寺は本尊に守られ奇跡的に火災を免れました。

毎年2月法要を営み、その後境内に供養塔を建立、本年2月に被害50年の法要が営まれました。

「やよい絆28」発刊から10年を経て…

弥生町会連合会 会長 大橋 信喜美

「星霜移り人は去り」旧制第一高等学校寮歌の歌詞の一節ですが、月日の経つのは早いもの、平成23年、故中井伸二 弥生町会連合会会長（当時）の発案で弥生町連広報「やよい絆28」が発刊されて10年の歳月が過ぎ去りました。忘れもしないその年 平成23年3月11日、日本中を震撼させた東日本大震災が発生して未曾有の大被害をもたらした、「絆」の大切さが以前にも増して叫ばれるようになり、「絆」という文言が広報の名前に取り込まれたことを思い出しています。以来10年間、編集担当の一人として及ばずながら関わってきた私ですが、「広報紙」の果たす役割の大切さにあらためて思いを致しているところです。

「やよい絆28」第1号の発刊当時、我が国の大きなテーマは「東日本大震災からの復興」、翻って、現在、日本だけでなく世界の大テーマが「コロナの克服」です。昨年度は、弥生町連の総会も書面議決を余儀なくされ、新年互礼会も止む無く中止に追い込まれ、寂しい一年でした。新型コロナウイルスの発生から1年以上が経過し、ワクチンが製造され接種が開始されている今もなお収束の兆しが見えず何かと不便な日常が続く、地域コミュニティの活動も停滞気味です。このような状況ではありますが、その中で出来ることを精一杯 弥生町連として進めてゆきたいと考えています。この「やよい絆28」が皆様のこころを繋ぐ縁（よすが）の一つになればと ひとときわ思うところです。老若男女が互いに支え合う 住みよい「まちづくり」を皆様とともに粘り強く進めてゆきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

各種団体への負担金の一部返還について

昨年（令和2年）6月の町会長会議で、一部の町会長さんから「コロナ禍に見舞われた令和2年度は多くの行事・活動が中止されることを考慮し、各種団体への負担金の一部を返還すべき」との提案がありました。この提案を受け、町連理事会で返還の可否並びに変換する場合の返還金額等について協議した結果、以下に示す返還額算定方法で負担金の一部返還を実施することを町会長会議に提案し、最終的に12月の町会長会議で賛成多数で了承されました。

1. 返還額の算定方法

- ・野町消防分団および弥生地区保護司会はコロナ禍にあっても活動は変わらないので、返還を求めない。また、弥生地区連合長寿会に対しては高齢者に配慮して返還を求めない。
- ・その他の各種団体については、下の表1に示すような**令和2年度支出増減(見込み)額**の申告に基づき、正味の支出減（＝A－B）から、一世帯当たりの返還額を算出する。

表1 各種団体の令和2年度支出増減（見込み）

コロナ禍のために行事等が中止されたことにより減少した支出の総額（A）	〇〇〇 千円
代替事業・活動等により増加した支出の総額（B）	××× 千円
正味の支出減（A－B）	△△△ 千円

- ・弥生町連への負担金の中、一町会当たり3,000円は変更なしとする。

2. 令和3年度負担金額の算定

消防団、保護司会、及び連合長寿会を除く各種団体から提出された**支出増減表**（表1）に記載された正味の支出減（＝A－B）の金額を全世帯数で割り算した額が一世帯当たりへの「当該団体からの返還額」となります。例えば町連の場合、返還額は一世帯当たり235円となります。実際の返還はこの金額を返還する代わりに、「令和3年度の負担金納入額を調整すること」で行います。すなわち、

$$\text{令和3年度の納入額} = \text{正規の額} - \text{返還額}$$

となります。例えば、町連の場合は600円－235円＝365円となります。弥生地区すべての各種団体について示したものが表2です。

表2 令和3年度弥生地区各種団体への負担金（単位：円）

	町連	公民館	防犯	推進隊	長寿会	育成	自主防	福祉	保護司会	消防	合計
一世帯当たり*	365 (600)	795 (850)	30 (130)	85 (100)	60 (60)	95 (100)	120 (150)	400 (400)	20 (20)	280 (280)	2,250 (2,690)
一町会当たり	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000

* カッコ内の数値は正規の負担額（一世帯当たり）を示します。

従って、令和3年度の一町会当たりの負担金の納入額は次の通りとなります。

$$\text{一町会当たりの負担金の納入額} = 2,250 \text{円} \times \text{世帯数} + 3,000 \text{円}$$

なお、各世帯からの町費を減額するか否かはそれぞれの町会の判断に委ねることを町会長会議で申し合わせております。

コロナ禍における災害時の避難行動ガイドライン

弥生自主防災会リーダー会

昨年（2020年）9月に弥生自主防災会リーダー会において下記のような「コロナ禍における避難行動ガイドライン」を取りまとめましたのでお知らせ致します。このガイドラインは、昨年7月31日に開催した勉強会において講師を務めていただいた北陸病院 感染管理認定看護師 井口聡子様からの提言を基本に作成したものです。

避難所へ行くときの留意点

通常の避難の場合の注意点に加えて、以下の点に留意してください。

1. 「社会的距離」を保つために、避難所での収容人数は平常時の約1/3となる。したがって、拠点避難所（泉小学校）・指定避難所（泉中学校）以外への避難（在宅避難や親戚等への避難）を日頃から検討しておくこと。泉小・泉中グラウンドでのテント避難並びに車中泊避難や、泉野保健所への避難なども念頭に入れておくこと。

参考までに、コロナ禍の下での泉小および泉中での収容人数は以下の通りです。

泉小収容人数 約250名（体育館有効面積：約800㎡ $800/3.2=250$ ）

泉中収容人数 約625名（体育館有効面積：約2,000㎡ $2,000/3.2=625$ ）

2. 避難所へ行く際はマスク、体温計、消毒液等の衛生用品を持参すること。
（避難所にはこれらの衛生用品は少量しかありませんので、通常から自宅で備蓄をしておいて下さい。）
3. 予期せぬ事態が発生した場合には、「自分の命は自分で守る」を基本に、各自最善を尽くしてください。

避難所での行動についての留意点

避難所では感染症の拡大リスクが高まるので、通常の避難の場合の注意点に加えて、以下の点に留意してください。

1. 避難所では、各自良好な衛生状態を保つようにしましょう。
2. 他人との距離は社会的な距離（約2メートル）を保つようにして、飛沫感染や接触感染による感染拡大しないようにしましょう。2メートルの間隔を保つことが困難な場合は互いに背中合わせになる等の工夫をしてください。
3. 手洗いの励行。水が出ない場合はアルコール消毒剤を多めに手に取り、手拭き用の紙で拭き取りましょう。
4. マスクの着用・咳エチケットを守ること。
5. 予期せぬ事態が発生した場合には、「自分の命は自分で守る」を基本に、各自最善を尽くしてください。

コロナ禍の避難における“地域防災リーダー”の役割

地域の防災リーダーにとって、通常の避難の場合の役割に加えて、以下の点に対する具体的な対策を講じておくことが重要です。

1. 避難所レイアウト等の検討
 - ・ 避難所受付時の健康状態の確認により、発熱者等体調不良専用スペース及び一般用スペースにスムーズに誘導できるようなシステムを構築しておくこと
 - ・ 社会的距離（～2m）を確保するレイアウトの作成
2. コロナ禍の避難所で特に重要なことについて、立て看板の作成等により周知徹底を図る。
3. コロナ感染症陽性者への対応
 - ・ 地域の避難所には避難しないように事前に金沢保健所から当人への周知の徹底をはかること。
 - ・ 自宅からの避難が必要な場合は金沢保健所の指示によりホテル等療養施設に避難できるように用意周到に手当てをしておくこと。

令和3年度 町会役員一覧

28町会 240班 2368世帯(令和3年4月現在)

*No.19は「金大弥生東部町会」の退会により、欠番となっています

No.	1	2	3	4	5	6	7
町会名	泉町交友会	泉新町第一町会	泉新町第二町会	泉旭町一丁目町会	泉旭町二丁目東部町会	泉旭町二丁目西部町会	泉旭町三丁目町会
世帯数	123	50	50	85	80	36	85
町会長	 寺分 重喜	 小村友美恵	 中田 和成	 遠藤 和宏	 安藤 利得	 浅島 雄一	 荒井 英則
副会長	深井 忠正 高山 正規	碓谷 佳克 太田 清佳 田中愛一郎	中村 勉	黒田 真吾	千田行一路	木村由美子	明翫 敏信
会計	堀 陽一	豊田 幸子	北川 美和	村本 義和	重田 健介	市村 達也	酒井 康貴

No.	8	9	10	11	12	13	14
町会名	生和会	富樫町会	泉が丘致芳会	泉が丘愛香会	弥生が丘町会	弥生が丘南町会	東部弥生町会
世帯数	165	103	250	121	152	32	77
町会長	 高城 弘治	 山口 嘉則	 相川 久嗣	 村山 大倫	 榊 博俊	 寺崎 隆	 三野 陽邦
副会長	喜多 正行 森 博幸	東 正博 山口 真一	山田 達雄 斎藤 幸雄	岡田 晋作 南 政彦	山本 俊宏	濱下 博行	三津守 聡
会計	茶谷 泰	梶 均	村井美由紀 柴田 政秋	寄留 京香	松永 吉弘	一丸 直人	泉 清

No.	15	16	17	18	20	21	22
町会名	中部弥生町会	弥生上丁町会	弥生第一町会	芦中町町会	六斗林一丁目親誠会	有松町会	泉野町三丁目町会
世帯数	33	40	41	71	54	32	400
町会長	 東藤 幸介	 横山 英樹	 竹越 章	 長谷 秀一	 平井 利幸	 河 和彦	 大森 信夫
副会長	大門 泰治	鏡 幸彦	中浜 正人	安田 清栄	前古 竜弥	水野 正人	定免 英樹
会計	東藤 幸介	房 利美	松本 修子	岡 泰三	前古 竜弥	米尾 章浩	山崎 智也

No.	23	24	25	26	27	28	29
町会名	南が丘町会	泉が丘平成会	泉が丘親成会	エスト泉が丘町会	泉が丘竹の子町会	泉が丘さくら町会	泉野図書館前町会
世帯数	66	56	55	30	22	39	20
町会長	 古畑 徹	 松村 昭一	中村 充宏	 下島 哲雄	 鹿島 正裕	 山田 克哉	 山本 陽介
副会長	葛葉 治郎 東野外美男 横田 貞昭	木下 秀友	吉野真太郎		卜部 健	寺口 恭介	青木 盟
会計	藤田万寿美	武部多香子	林 悦子	山本 志津	蟹田 尚	宮田 博	松本 晶子

令和3年度弥生各種団体等役員

弥生町会連合会

会 長	大橋信喜美	泉野町三丁目	理 事	額谷 仁	六斗林一丁目親誠会
副 会 長	寺分 重喜	泉町交友会	理 事	中村 昇	泉野町三丁目
副 会 長	本多 正	工スト泉が丘	会計監査	島田 和夫	泉旭町三丁目
理 事	森田 憲	弥生上丁	会計監査	山田 信行	泉が丘竹の子
事 務 局	谷内 昌子	泉新町第一			

弥生防犯委員会

委 員 長	大館勇喜夫	六斗林一丁目親誠会	理 事	廣畑 泰之	生和会
副委員長	脇坂 昌芳	泉旭町二丁目東部	理 事	柳瀬 博志	富樫
会 計	虎本 正敏	弥生が丘	理 事	濱下 博行	弥生が丘南
理 事	北 三代至	泉町交友会	監 事	俵屋 都士	泉新町第一
理 事	鶴見 正樹	泉旭町三丁目	監 事	南 孝嗣	泉野町三丁目

弥生自主防災会

会 長	大橋信喜美	泉野町三丁目	防災士・総務	棒田 美枝	泉野町三丁目
副会長・防災士	本多 正	工スト泉が丘	防 災 士	高木 英美	泉町交友会
副会長・防災士	森 博幸	生和会	協働連絡委員	佐藤 俊作	泉が丘さくら
防 災 士	宝田 喜作	泉新町第二	協働連絡委員	大館勇喜夫	六斗林一丁目親誠会
防災士・総務	河合 睦	弥生公民館主事	総 務	谷内 昌子	泉新町第一
防 災 士	村田 昌代	中部弥生	会 計	東 晴美	泉野町三丁目
防 災 士	渡邊 浩志	東部弥生	監 事	中村 昇	泉野町三丁目
防災士・総務	有松由美子	泉新町第二			

弥生地区連合長寿会

会 長	中田 邦雄	泉旭町一丁目	理 事	吉谷 秀昭	泉町交友会
理 事	大橋信喜美	泉野町三丁目	理 事	武部 善明	泉が丘致芳会
理 事	村西 光男	弥生第一	会 計	高田 輝信	泉旭町二丁目東部
理 事	笠嶋 昌矩	生和会	監 事	中山 一郎	富樫

金沢中街頭交通推進隊弥生支隊

支 隊 長	海道 正人	泉町交友会	隊 員	東 正美	泉旭町二丁目東部
隊 員	小泉 章一	東部弥生	隊 員	水巻 啓光	生和会

弥生少年連盟育成委員会

委 員 長	村田宗一郎	泉旭町二丁目西部	書 記	石野美加子	泉野町三丁目
副委員長	山本 悦子	泉野町三丁目	会 計	岩井 直美	弥生上丁
副委員長	渡邊 浩志	東部弥生	会 計	西村 亜紀	中部弥生
副委員長	黒田 真吾	泉旭町一丁目	会計監査	田辺 順子	生和会
書 記	苗代真由美	弥生が丘南	会計監査	吉見江理子	泉が丘致芳会

弥生婦人防火クラブ

委 員 長	成出 浩子	泉旭町二丁目東部	副委員長	三国 範子	泉新町第一
-------	-------	----------	------	-------	-------

弥生校下赤十字奉仕団

委 員 長	石田 善松	生和会	副委員長	東 晴美	泉野町三丁目
-------	-------	-----	------	------	--------

泉小学校・泉中学校改築促進期成同盟会

会 長	大橋信喜美	弥生町連会長	事務局次長	河合 睦	弥生公民館主事
副 会 長	木村 文昭	弥生公民館館長	会 計	谷内 昌子	弥生町連事務局
副 会 長	山本 悦子	弥生児童館館長	監 事	島田 和夫	弥生町連会計監査
副 会 長	田辺 一幸	弥生地区社福協会会長	監 事	山田 信行	弥生町連会計監査
事務局長	額谷 仁	弥生町連理事		(町連=町会連合会 社福協=社会福祉協議会)	

新成人へのメッセージ

脱炭素社会を目指して「自然に優しく謙虚に」

大橋 信喜美（弥生町会連合会会長）

本年1月10日ホテル日航金沢で行われた「弥生地区成人式」で新成人へのメッセージとしてお伝えした内容に若干加筆したものを以下に再現させていただきます。

凜とした空気に包まれるなか、成人式にご出席の皆様方に一言ご挨拶をさせていただきます。晴れの成人式を迎えられましたこと誠にめでとうございます。どうか、一度しかない大切な青年期を、学び、働き、考え、悩み、友と大いに議論をし、有意義な日々を送ってください。それぞれご自身の「志」を胸に、目標に向かって力一杯歩んでいただきたく思います。

未だかつて経験したことのない「コロナ禍」の中で迎えた本日の成人式に当たり、私からのメッセージとして、一言「自然に対して優しく謙虚に向き合うことの大切さ」についてお伝えしたいと思います。

ご存知かと思いますが、いろいろな機会に度々取り上げられる地球温暖化がもたらすリスクが一般に認知され出したのは1980年代末のことです。この地球温暖化が地球上の気候のバランスを乱して、近年、世界の各所で頻発する自然災害を引き起こしています。近いところでは昨年7月に熊本県を中心に九州地方を襲った集中豪雨、一昨年9月に千葉県を中心に関東地方を襲った過去最強クラスの台風は、記憶に新しいところです。まさに、私たちが暮らすこの日本列島は、さながら、災害列島の感さえあります。このように地球上に不規則な気候現象をもたらす地球温暖化ですが、それを引き起こしているのは大気中における二酸化炭素のような温室効果ガスの増加です。地球大気中に温室効果ガスの量が増えると地球表面から発せられる赤外線が宇宙空間へと拡散されるのが妨げられ、大気中の温室効果ガスに吸収されて熱エネルギーが地球周辺に蓄積されることとなり温暖化が起きることとなるのです。

ところで、温室効果ガスの大部分を占める二酸化炭素の地球大気中での割合はこの200年の間に約1.4倍に増えて現在約百分の4%です。地球大気中に存在する僅か百分の数%という微量の二酸化炭素の量の増減が地球上の気候に大きく作用しているのです。地球という自然はこのように大変デリケートな生き物なのです。

このように地球温暖化をもたらす温室効果ガスの増加に寄与するものの大部分は人為的起源の二酸化炭素の増加です。すなわち、石油や石炭などの化石燃料の燃焼による増加です。産業革命以来、人類はひたすら豊かさや利便性を求めて文明の利器の恩恵に浴し大量のエネルギーを消費するなかで多量の二酸化炭素を排出してきたことにより今日の事態を招くこととなったのです。このような趨勢に歯止めをかけようと近年、世界では様々な動きが現れてきています。ご存知のように、日本政府も昨年10月、「2050年までに二酸化炭素の排出と吸収がプラス、マイナスゼロとなるような脱炭素社会の実現を目指すカーボンニュートラル2050」を宣言しました。

地球温暖化にストップをかけるためには、政府の施策の遂行は勿論、重要なことではありますが、それと並んで、一人ひとりが問題意識を持ち、無駄に燃えるゴミに出さないなど、省エネを心がけることが極めて大切であると考えます。そして、なによりも大切な心構えは「人間も植物や動物と同じく原子分子の集合体であり自然の一部であることに思いを致し、自然に対して大きな負荷をかけることなく謙虚に、優しく向き合う姿勢」であろうと考えます。

以上、地球温暖化が生態系の乱れを生じさせ今日のコロナ禍を招いたともいわれる中で私の思いを述べさせていただきました。「自然に対して優しく謙虚に」との思いを共有していただければ幸いに思う次第です。

最後に、金沢市内でも指折りの文教地区といわれる弥生の佇まいの中で成長された皆様方には、自信と誇りをもって、高い志を粘り強く持ち続けられることをお祈りして、ご挨拶の結びとさせていただきます。

泉小校舎正面を背に桜の若木を植樹



入学式の日、校舎を背に桜の木の下に並んで家族で記念写真をの思いをかなえるべく、泉小学校校舎正面（写真右）の▲の位置に桜（ソメイヨシノ）の若木が今年6月に植えられることになりました。春爛漫の日和の中で咲き誇るを心待ちにしたいと思います。



また一つ「弥生の名所」が増えたようで、嬉しい限りです。

平成27年10月にスタートした泉小・泉中の改築工事ですが、現在、改築工事の最終工程であるグラウンド整備の工事中で、今年度中には終了の見込みです。改築工事全工程完了の日が待ち遠しいところです。

弥生地域コミュニティ活性化事業

「木村榮博士に光をあて、その業績を広く伝える活動」

弥生町会連合会では平成30年度より標記の活動を弥生地域コミュニティ活性化事業として取り組んでいます。そのような訳で、我らが郷土の偉人木村榮博士の業績に関心を持っていただくきっかけになればとの思いから、以下に木村博士の年譜を掲載します。

木村 榮博士 年譜（主なもの）[[木村榮博士とZ項] 木村榮博士顕彰会（編者藤田清正氏）より抜粋]

明治3年(1870)	0歳	石川郡野村字泉野新84（金沢市泉野町3丁目18-16）にて菜種油の生産や酒づくりなどを手広く商う素封家篠木庄太郎の二男として誕生
明治4年(1871)	1歳	近くに住む親戚で子供のいなかった木村民衛の養子となる
明治11年(1878)	8歳	養父民衛の経営する木村塾にて、養父に代わって塾生に漢学や算盤を教えるなど神童ぶりを発揮
明治20年(1887)	17歳	第四高等中学校に入学 この頃、今川覺神から天文学の講義を受け、天文学を志す
明治22年(1889)	19歳	東京帝国大学理科大学星学科入学
明治25年(1892)	22歳	東京帝国大学理科大学星学科卒業 星学観測研究のため大学院入学
明治28年(1895)	25歳	東京で緯度観測を始める
明治31年(1898)	28歳	測地学に関する国際会議出席のためドイツへ出張 このとき岩手県水沢が万国共同緯度観測所に決定
明治32年(1899)	29歳	臨時緯度観測所(岩手県水沢)の所長に就任 水沢にて緯度観測を開始
明治35年(1902)	32歳	Z項発見の論文発表
明治37年(1904)	34歳	理学博士の学位を授けられる
明治44年(1911)	41歳	帝国学士院恩賜賞を授与される（第1号）
昭和12年(1937)	67歳	文化勲章（第1回）受章
昭和18年(1943)	72歳	東京都世田谷区の自宅にて9月26日逝去せられる

ちなみに、第一回文化勲章受章者は長岡半太郎（物理学）、本多光太郎（金属物理学）、木村 榮（地球物理学）、佐佐木信綱（和歌・和歌史）、幸田露伴（小説）、岡田三郎助（洋画）、藤島武二（洋画）、竹内栖鳳（日本画）及び横山大観（日本画）のそうそうたる顔ぶれで、木村博士の偉大さが偲ばれます。

弥生町会連合会のホームページを開設しました

昨年（令和2年）11月に弥生町会連合会のインターネット・ホームページを開設しました。

ホームページアドレスは <https://yayoichouren.jimdofree.com> ですが、キーワード入力欄に“弥生町会連合会ホームページ”と入力すればアクセスできます。

「ホーム」「弥生町連組織・行事」「弥生町連活動」「弥生自主防災会」「文書様式」のサイトに分け、町会長会議のレジメ、特区事業：（1）獅子舞などの伝統芸能を伝承する活動、（2）雀谷川を美しくしホテルの里をまもる活動、また、地域コミュニティ活性化事業：木村榮博士に光をあてその業績を広く伝える活動等について紹介しています。

弥生町連の役員の中の情報担当の二人が解説書をめくり、相談しながら作成したもので拙いものですが、一覽いただければ幸いです。

また、金沢市町会連合会においても令和3年4月1日にホームページを開設しており、キーワード入力欄に“金沢市町会連合会”と入力すればアクセスできます。

年間行事

令和2年度 行事報告

<令和2年>

- 4月 令和2年度弥生町会連合会
書面決議総会
- 5月15日 書面決議総会表決書提出締め切り
- 5月31日 春の全市一斉美化清掃・泥上げ
- 5月 広報「やよい絆 28」第12号発行
- 9月14~18日 特 泉町交友会獅子頭飾り
- 9月22日 特 獅子舞（国造神社）
（泉新町第一町会 泉新町第二町会）
- 10月 5日 町会活動 ICT 活用セミナー
金沢市教育プラザ（富樫）
- 10月18日 秋の全市一斉美化清掃
- 11月 弥生町連ホームページを公開

<令和3年>

- 1月10日 公 弥生成人式（ホテル日航）
- 1月29日 特 泉町交友会獅子舞
泉中1年生「金沢ふるさと学習」
- 3月 3日 特 泉町交友会獅子舞
泉小3年生「金沢ふるさと学習」

特：特区事業 公：公民館主催行事

令和3年度 行事案内

<令和3年>

- 4月23日 令和3年度弥生町会連合会総会
- 5月30日 春の全市一斉美化清掃・泥上げ
- 5月30日 雀谷川河川清掃
- 6月 雀谷川ホテル観賞会
- 6月25日 広報「やよい絆 28」第13号発行
- 9月 特 泉町交友会
獅子舞と太鼓と踊りの夕べ
- 9月 特 泉町交友会獅子頭飾り
（泉八幡神社）
- 9月 特 獅子舞（国造神社）
（泉新町第一町会 泉新町第二町会）
- 10月 特 泉が丘致芳会獅子頭飾り
（地黄八幡神社）
- 10月17日 秋の全市一斉美化清掃
- 10月31日 金沢マラソン 2021
- 11月 弥生自主防災訓練

<令和4年>

- 1月 9日 公 弥生成人式（ホテル日航）
- 1月 弥生新年互例会（金沢国際ホテル）

編集後記

この1年間日本は、コロナウイルス感染防止と経済活動両輪を回すため、人流の制限と解除を繰り返してきましたが、その間コロナウイルスもより強いウイルスへと変異を繰り返し、今、日本は全国過去最大の感染者を記録、医療崩壊は現実のものとなりつつあります。

コロナワクチン接種が早く全国民に行きわたり、国民の大半が免疫を持つことを期待するばかりです。

弥生町連もその中で「With コロナ」の考えで、どのような活動が出来るかを考えて行きたいと思えます。今回の「やよい絆 28 第13号」は昨年の縮小版と異なり、従来の冊子へと復活させました。

もうしばらくの間、皆様方におかれましては十分お気を付けてお過ごしください。

「やよい絆 28」第13号
令和3年6月

発行
弥生町会連合会

金沢市弥生 1-29-13
TEL 241-5201
FAX 236-2237